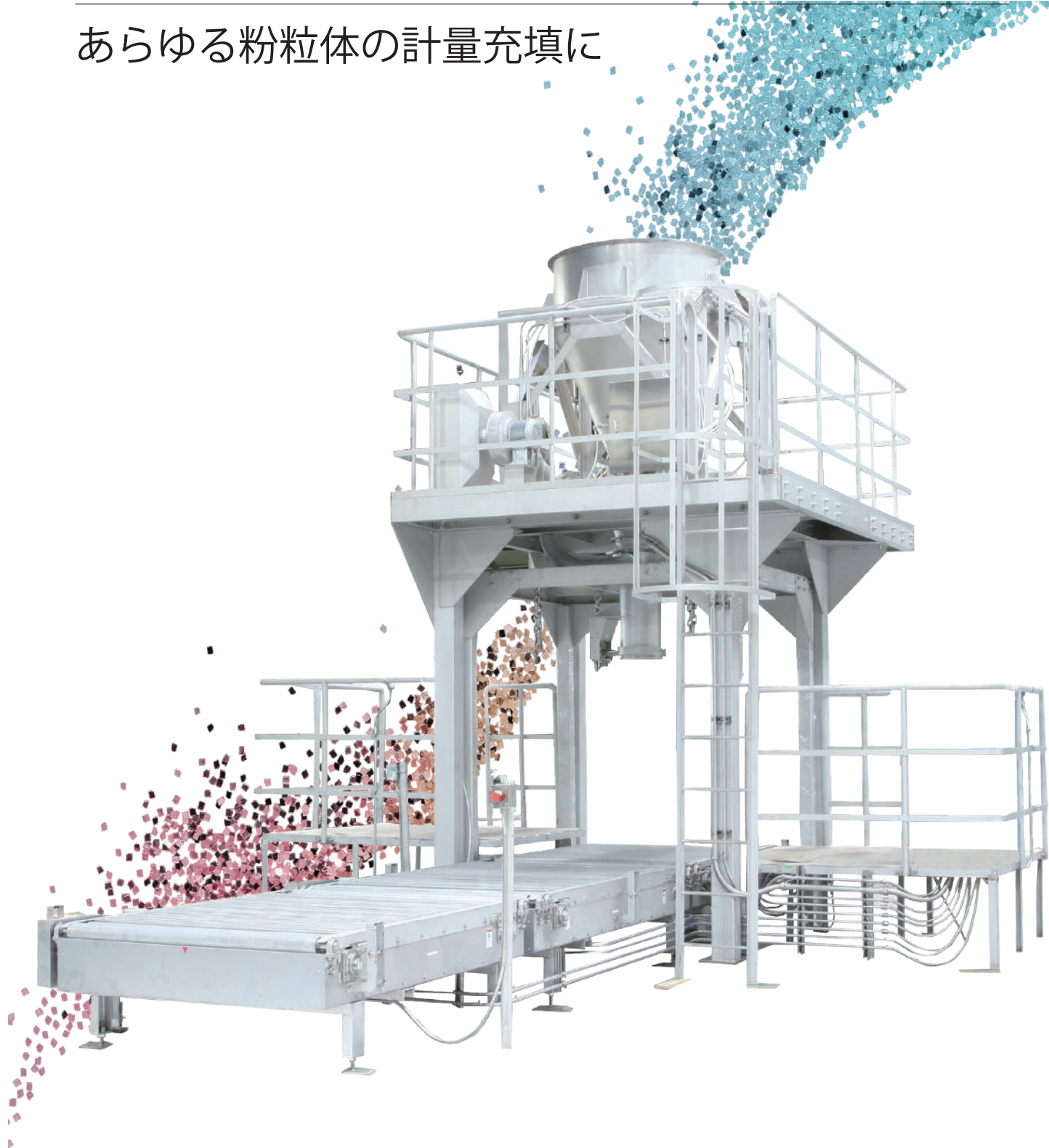


調 査 項 目	内 容		備 考																				
a) 台 数	台																						
b) 計量タイプの選定	ホッパースケールタイプ 台はかりタイプ		・フレキシブルコンテナ充填用スケールにはホッパースケールタイプと台はかりタイプとがあり、能力・設置条件などより決定してください。																				
c) 充填量（常用測定重量）の確認	充 填 量 NOR. kg MAX. kg		・NOR.はフレキシブルコンテナの充填重量で、スケールの常用測定重量に対応します。 ・MAX.はNOR/0.8～0.95の整数値に選定してください。																				
d) ご希望の精度(カットオフ精度)	± kg																						
e) ご希望の充填処理能力 (Qt/h)	充 填 量 kg × 計量回数 B/h Q (t/h) =		・処理能力は粉体物性充填量およびご希望の精度の要因によって異なりますので当社に問合せ願います。																				
f) 充填物(粉粒体)の物性確認	品 名 かさ密度 安息角 粒度と粒度分布 水分 温度 粒子形状 性状 付着性・架橋性・噴流性・摩耗性 吸湿性・潮解性・帯電性・発塵性 爆発性・劇毒性		・できればプロセスでの使用状態の粉粒体をもって物性を測定してください。 ・万一粉粒体の測定が困難な場合は、当社へテストサンプルを送付して頂ければ、測定を行ない、物性データの提出をさせていただきます。																				
g) 計量管理上のご希望項目	<table><tr><th colspan="2">チ ェ ッ ク 項 目</th><th>要 否</th></tr><tr><td rowspan="3">表示または記録</td><td>充 填 量 の 表 示 (毎回重量表示)</td><td>有 無</td></tr><tr><td>充 填 量 の 記 録 (毎回重量記録)</td><td>有 無</td></tr><tr><td>設定所定量の過不足表示</td><td>有 無</td></tr><tr><td rowspan="3">警報または発信</td><td>所 定 量 前 発 信</td><td>有 無</td></tr><tr><td>過不足量の上・下限発信</td><td>有 無</td></tr><tr><td>毎回重量値の発信</td><td>有 無</td></tr><tr><td>その他</td><td>設 置 場 所</td><td>現 場 遠 隔</td></tr></table>	チ ェ ッ ク 項 目		要 否	表示または記録	充 填 量 の 表 示 (毎回重量表示)	有 無	充 填 量 の 記 録 (毎回重量記録)	有 無	設定所定量の過不足表示	有 無	警報または発信	所 定 量 前 発 信	有 無	過不足量の上・下限発信	有 無	毎回重量値の発信	有 無	その他	設 置 場 所	現 場 遠 隔		・フレキシブルコンテナ充填用スケールの計量管理上の必要な項目を左表でチェックしてください。
チ ェ ッ ク 項 目		要 否																					
表示または記録	充 填 量 の 表 示 (毎回重量表示)	有 無																					
	充 填 量 の 記 録 (毎回重量記録)	有 無																					
	設定所定量の過不足表示	有 無																					
警報または発信	所 定 量 前 発 信	有 無																					
	過不足量の上・下限発信	有 無																					
	毎回重量値の発信	有 無																					
その他	設 置 場 所	現 場 遠 隔																					

調 査 項 目	内 容		備 考
h) フレキシブルコンテナバッグ	寸 法 胴径 mm 胴長 mm 口径 mm 口長 mm 肩吊り力所数 カ所 自 長 kg ± kg バラツキ 内ポリ袋の有無		・フレキシブルコンテナバッグの図面があれば提出願います。 ・充填前に袋膨らましの必要性の有無について明記ください。
i) パレット使用の有無	パレット使用の場合 寸 法 × × mm 長さ 幅 高さ フォーク側 自 重 kg ± kg バラツキ		・パレットを使用しない場合、当社ではスラットコンベヤにて直接搬送を行なっています。
j) 作 業 人 員	名		・省力化形では袋の取付けから取外しまでの作業を1～2名で行なえます。
k) 計重機までの被計重物の供給方法	1) 貯槽の場合 総 容 積 m ³ 出口寸法 mm 2) フィーダの場合 型 式		・貴方供給方法と計重機との取合方法は粉体の性状を良く把握し、最適な方法で接続しなければ、計重機的能力を十分に発揮する事はできませんので当社にご相談ください。
l) 受 給 電 源	動力用 AC V Hz 計装用 AC V Hz		
m) 受給空気源の有無	kg/cuG		・空気源なき場合は当方でベピコンを見積範囲に含めます。
n) 設 置 場 所	屋外・半屋外・屋内・高所・構内・海岸		
o) 周 囲 条 件	温 度 ～ ℃ 湿 度 % 振 動 振幅 μ 周期 Hz 防 爆 第 種危険場所		・周囲雰囲気により使用電気部品の気密対策は考慮致します。
p) 計重機設置ベース	できるだけ図面で表記願います。		・特に高さ関係を明確に願います。
q) 支給品の有無	モータ等その他明記願います。		
r) 見積工事範囲	中間配線工事 含・不含 据 付 工 事 含・不含		・当方施工の場合はできるだけ現場状況を詳細に知らせてください。



信頼・技術・創造

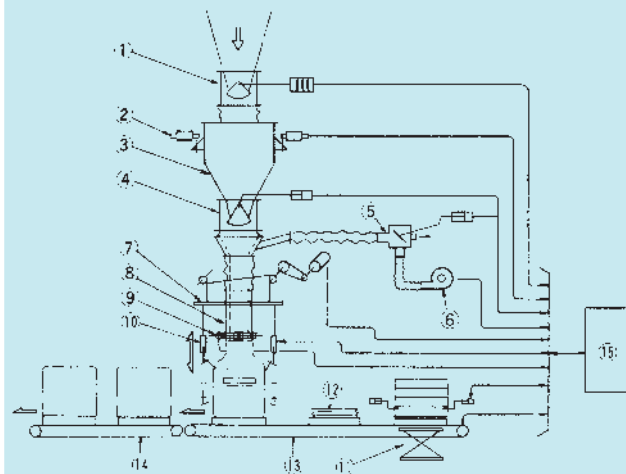
大和製衡株式会社

本 社 営 業	〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号	TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号	KDX浜松町センタービル4階 TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号	朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5731
北関東オフィス	〒350-0822 埼玉県川口市大字山田1888番地1	TEL.049-215-3122
千葉営業所	〒264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
九州営業所	〒810-0044 福岡市中央区六本松2丁目12番25号	ベルヴィ六本松6階 TEL.092-577-1591
営業時間外緊急技術相談窓口	TEL.078-918-6168	

URL：www.yamato-scale.co.jp

■ 本体部構成と名称

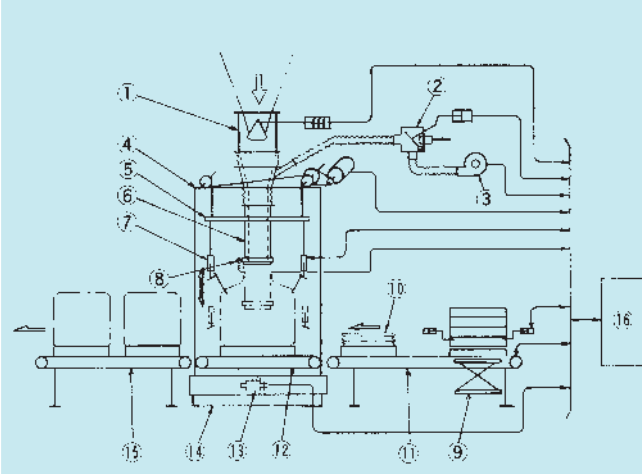
ホッパースケールタイプ (NET計量方式)



名称

- ①供給装置 ②ロードセル ③計量ホッパー
- ④排出装置 ⑤切換弁 ⑥ブロワー
- ⑦昇降装置および昇降枠 ⑧充填シュート
- ⑨袋クランプ装置 ⑩肩吊り装置
- ⑪パレットマガジン ⑫空袋
- ⑬搬入・充填コンベヤ ⑭搬出コンベヤ
- ⑮制御盤

台秤タイプ (GROSS計量方式)



名称

- ①供給装置 ②切換弁 ③ブロワー
- ④架台 ⑤昇降装置および昇降枠
- ⑥充填シュート ⑦肩吊り装置
- ⑧袋クランプ装置 ⑨パレットマガジン
- ⑩空袋 ⑪搬入コンベヤ ⑫充填コンベヤ
- ⑬ロードセル ⑭台秤 ⑮搬出コンベヤ
- ⑯制御盤

■ 各種オプションと特長



供給・排出装置

粒体から微粉体にいたる広範囲の粉体性状に対し、その供給操作に適した各種の供給、排出、攪拌装置を準備し、どのような粉体でも安定した処理ができます。

供給装置例 空気作動カットオフゲート/各種スクリュースフィダー/電磁フィダー/ディスクフィダー/ロータリフィダー等

金属検出機

最終製品の品質管理、金属片混入による設備機械損傷に縦型シュートタイプの金属検出機をご活用ください。

昇降装置

電動(または空気)式昇降機を採用されますと、袋の装着、クランプなどのハンドリング動作は昇降枠が作業に適正な位置まで下降した状態で行いますので、充填作業が簡単にできます。



肩吊り装置、袋クランプ装置

手動式と自動式があり、自動式を採用されますと、取り付けは手動操作となりますが、取り外しはエアシリンダーにより自動取り外しが可能となります。

袋ふくらし装置 および切換弁

充填時の袋の安定および充填効率の増加、そして内袋の破損防止と外袋との密着を目的とした袋ふくらし装置および充填時の換気集じんを効率化するオート切換弁。

袋・パレット 搬送装置

省力化、前後ラインとの接続方法などにより、各種のコンベヤラインの採用が可能です。

コンベヤ例 パレットマガジン/各種チェーンコンベヤ/ローラーコンベヤ/ベルトコンベヤ/スラットコンベヤ

チェック台秤

充填後の内容量チェックのため、チェック台秤の設置が可能です。

制御装置



EDI-2000